

# 2024年度 第1回 メディカル・ウェルネスデバイス分科会

日時： 2025年01月31日（金） 13：00～17：00（12：30入場開始）

会場： 産総研つくばセンター 本部・情報棟 1階 01303室

少子高齢化に伴い、今後ますます医療従事者の数が、患者数に対し相対的に減少することが予想されます。また、僻地に居住されている方々にとって、医療機関へのアクセスがさらに困難になることも危惧されています。これらの問題を解決する一つの方法として、オンライン診療による「遠隔医療」が挙げられます。すでに、一部オンライン診療は始まっていますが、未だ部分的の導入に留まっているのが現状です。

そこで、今回は、「遠隔医療の必要性とそのための技術」について討論すべく、内外から3名の講師から、貴重な話題提供を頂くと共に、遠隔医療に関する参加者の皆さんの一般的なイメージや遠隔医療に対する希望やご意見を伺う機会と致します。当該分野に業務として関わっていらっしゃる方々のみならず、自らや社会の将来を考える機会にして頂くべく、幅広い方々のご参加を期待致します。

プログラム：

13：00～13：30 リビングラボ見学（希望者）

13：30～13：40 移動

-----

13：40～13：45 開会ご挨拶

メディカル・ウェルネスデバイス分科会 会長 福田 隆史

13：45～14：30 『遠隔医療の現状と今後期待される新技術』

産総研 健康医工学研究部門 総括研究主幹／

次世代治療・診断技術研究ラボ ラボ長／

東邦ホールディングス-産総研ユニバーサルメディカルアクセス

社会実装技術連携研究ラボ 副連携研究ラボ長 丸山 修

14：30～15：15 『認知症介護における遠隔支援の可能性 -ケアテクノロジー導入への示唆-』

東京都健康長寿医療センター 涌井 智子

15：15～16：00 『歯科診療における遠隔診療の現状とニーズ』

産総研 健康医工学研究部門 主任研究員 吉原久美子

16：00～16：10 休憩

16：10～16：55 『ディスカッション』

～オンライン診療が対面診療と同等となるために必要な技術とは？～

産総研 東邦ホールディングス-産総研ユニバーサルメディカルアクセス

社会実装技術連携研究ラボ 研究員 久保田 泰広・西山 修司

16：55～17：00 閉会挨拶

メディカル・ウェルネスデバイス分科会 会長 福田 隆史